

# 日高教定通都新聞

2008年10月3日

No. 40

発行：日高教定通都

teitu@nikkokyo.

zenkyo.org

## 参加と共同で 生活をつくる、学校をつくる、地域をつくる

2008年全国定通教育学習交流集会 in 岡山

### 全国定通教育学習交流集会 御一行様



全国定通教育学習交流集会（8月2日～4日、岡山県吹上温泉）は、「参加と共同で、生活をつくる、学校をつくる、地域をつくる」をテーマに開催され、進行は今年も父母によってすすめられました。オープニングは、岡山の2人の高校生がギター演奏を披露。オリジナル曲の演奏によって会場の参加者はうっとりさせられ癒しの一時となりました。今集会に生徒10人、父母10人、研究者、全労働、映画監督、報道の方などを含む101人が参加しました。（詳細は後日作成の報告集をご参照下さい）



司会は⑥木南公美子さんと  
⑦松本恵美子さん



賢くなったと感じる学びがあったとのべました。

その学びは生きる希望がもて、個性を引き出してくれる、ありのままの自分が出せるものだったと語り、それは、もう一度人生を生き直せるものであり、学びあいを通じて深い人間関係がつけられること、学ぶとは生きる力につながると語られました。会場から要望が出された夜間中学での教材「生活基本漢字 381 字」がその後集会参加者に配布されました。

### 特別講演「学ぶことは生きること

#### ―夜間中学から教えられたこと―



森康行さん：  
映画「こんばんは」監督

森康行さん（映画「こんばんは」の監督）は、“教育は誰のものか”を熱く語られました。また、映画「こんばんは」の制作に至るまでの自身の映画づくりの経過を語り、森さん自身、夜間中学において映画制作のために半年間授業を受けてきたことを紹介。そこには競争のない序列のない学習があり、意味を深く考え

### 特別報告

「定時制高校を卒業して」と題しての特別報告で、定時制卒業生の梅井忠さんから、「一日平均13時間勤務で28日間働いて18万円の給料。さらに保険など引かれると手取り15万5000円。これを時給に換算すると426円」というきびしい労働体験が語られました。梅井さんは、月平均200時間の残業代の未払いを求めてユニオ



梅井忠さん：川崎市立橋高校定時制06年度卒業生

ンに加入し、団体交渉で 180 万円の支払いを勝ち取りました。

## 模擬授業

模擬授業は、3 月まで日高教定通部事務局長を務めた北海道の菊地先生による、1 時間で分かる働くルールについての授業。題して「働くことを学ぶ」。集会参加の生徒たちを前にして、「男性従業員募集！・月収 100 万円以上も可・働き次第で更に高給優遇！（誰にでも出来る簡単なお仕事です）連絡先 090-XXXX-XXXX」という求人広告を見せると、生徒たちからは「この広告では仕事の内容がよくわからない」「賃金の目安がなく労働時間が明確でない」「住所などの連絡先が書いてない」「性別が限定されている」などの意見が出されました。

働くルールについては「契約は書面で取り交わすこと」「不当と思ったら労基署へ申告」「記録をとろう」「一人でも入れるユニオンがあること」「学校の先生に労基法を教えてもらおう」「働き方にはルールがあること」「人間としての尊厳は守られなければならない」などの説明があり、みんなに分かる授業でした。

## 高校生フォーラム



高校生フォーラムでは高校生たちの労働状況や生活が厳しい状況にあることが明らかになりました。

Aさんは求人広告を見て電話。「担当者いない」と電話を切られた。現在は朝 6 時からコンビニで働く。B君はグットウィルから派遣された 500 箇所の現場で働く。C君は本屋さんで 24 日働い

て 11 万円。D君は配送センターで 1 時間のみ働く。E君はコンビニで 2 ヶ月間は研修期間だからとただ働きさせられ、その後の 2 ヶ月は半分の賃金しか貰えなかった。有給休暇もなかった。Fさんの職場では女性には残業代がつかない、求人票には土日が休みと書いてあったのに土曜日に指定休が入れられ有給が 5 日間に減らされている。7 時半まで働いたのにタイムカードを 7 時と書き換えられてしまう。Gさんは売り上げの 57%が収入となる完全歩合制なので、計算すると最低賃金に満たない。H君は寿司屋さんのバイト、定時制と両立できないのでコンビニで働くことにした。I君は仕事の覚えが悪いから 2 ヶ月分の給与が貰えなかったなどなど。



高校生たちは「疲れがたまってしまう」「仕事は完璧にできない」「期待どおりできないという自信のなさから、精神的に追い詰められてしまう」「そんなとき仕事量を減らすなどの周囲の配慮が欲しい」と発言。



フロアから高校生たちに「模擬授業を受けて明日から権利行使をしようとするのか。しないのか。その理由は」と質問が出され、生徒たちは「雇われている立場だから、自分自身どう動けば良いのか不安」「最初仕事ができないのは当然。仕事は覚えていきたい。会社と対等でありたいし、権利は使っていきたいし会社は権利を守って欲しい」と応えた。



コメンテーターは④太田政男：大東文化大学教授。⑤後藤淳子：京都定通みんなの会。⑥松崎頼行：鶴ヶ島市元教育長

コメンテーターからは「権利を知っていることと権利を使うことの間には隔たりがある。人間関係が壊れる

という不安があり、それを克服するには労働組合法の学習と組合に駆け込んで変えていく勇気と行動が必要。それをどう身に付けていくのか」「回覧板も回らないなど地域から排除されている若者

に自治体の労働行政の提起もされず、市民にも知らせてない中、高校生の労働実態を伝えていくことによって地域の中において若者が見えていくようになる」「若者を社会全体で育てていく。人間のつながりをつくることは大事で、親子と先生で話し合う場をつくるなどのシステムも必要」「ものわかりが良くなつてはダメで、当事者があきらめてはダメ、あきらめからは何も生まれない、おかしいことはおかしいと言えることが求められている」とのべました。

## パネルディスカッション

### 「学ぶ・働く・つながる」

大東文化大学の太田政男さん：「グローバル化によって生産拠点が海外移転し、国内においては雇用人数の減少が進み、青年は安定した就職ができず、青年の貧困さらには社会的に排除される状況がつけられている。労働職業教育がされていない現状を見直し、青年に働く者の権利や法律を教える必要がある。労働に参加することによって喜びや苦しみを直に知る学習実践が求められている。個々バラバラにされ閉じこもる青年に、世界を我がものにしていく仲間と居場所が大切だがそれらを地域にどうつくり、どう保障していくのか」



永野千津：あいち定通父母の会

愛知のお母さん永野さん：「学費がなく高校を退学していく子がいる」「定時制でどんな力をつけるのか。今の社会は失敗が許されず、それまでの経験が引き出せない会社。定時制には社会人もいる。大人とは、働くとは何なのか話し合える。今は試す時期で、

卒業後は対等平等のパートナーとしての仕事が必要」

映画監督の森さん：「夜間中学には社会的に排除された人たちがいる。そんな人たちにとって夜間中学や定時制がはどんなに大切か。教師集団の力で一緒になって日々生きている。働く場があり、若者を見ていける地域にしていきたい」

労基署の古市さん：「申告する場合は「方面（労働条件・解雇・賃金）」の窓口にて監督官に。実



古市泰久：全労働・中央執行委員・労働基準監督官

に申告数が多く監督官が少ない現状がある。しかし、労働組合、監督署、労働局にて相談などさまざまな対処法がある」

フロアからの発言では次のようなものがありました。  
\* どう立ち向かっていくか大人たちの姿を見せる必要性

- \* 定時制に矛盾が集中しているが、生存する権利、発達保障の権利を
- \* 社会的弱者が普通の市民として生きられる社会を
- \* 憲法や労基法を労働者の味方として教える、労働基準法・労働組合法・働くルールを学校できちんと教えること
- \* 非正規・正規も人間らしく生きられるように、社会の現実を根本的に改善しなければ、
- \* 臨時任用の先生が多い、職場内の人間関係のトラブル解決の斡旋、
- \* 働けない生徒たちを支援する NPO 法人との連携、自分たちの居場所を自分たちでつくる、連帯していく時代、
- \* 定時制高校の灯りを見るとホッとする

## 「どうしてますか」アンケート中間報告

6月に就業状況を調べる卒業生追跡調査の「どうしてますか」アンケートを行ないました。調査に回答してくれた卒業生 415 人の結果から、卒業時に「正社員」として就職した生徒は 3 年目「正社員」である割合が 83.3 % と高いことがわかりました。また、定時制卒業時に「進学」した生徒は大学や専門学校卒業後、多くは正社員として就労していることから比較的安定した進路をたどっていることがわかりました。

これらから卒業時までの指導がその後の生活に大きく影響していることがわかりました。一方で連絡がとれず追跡調査できなかった生徒は 200 人もおり、卒業後のフォローが今後の課題となります。



「集会」会場から望む瀬戸大橋

## 問題別交流

### (1) 統廃合・募集定員削減反対のとりくみ

主に、以下の報告を中心に交流しました。定時制の良さをもっとアピールし、生かしていこう、という交流になりました。

- \* 岡山から高梁市立の 2 校の定時制「宇治高校・松山高校を守る会」を守る会のとりくみ。
- \* 香川から坂出工業高校の募集停止に反対するとりくみ。
- \* 京都市内の募集定員増を求めるとりくみ。
- \* 北海道から室蘭工業高校（08 年度から募集停止）で完全給食を実現したとりくみ。

### (2) 多部制・単位制について

主に単位制のメリット・デメリットなどについて交流しました。

- \* 横浜総合高校（3 部制）：「光と影の部分がある」「自主的活動に関して大きな課題がある」「自分の将来を見つけるための学校としてとらえると、多部制・単位制の学校も意味がある」
- \* 長崎からは、単位制高校を導入するためにしようとした県教委の動きと、単位制の指定研究を受けた 4 校とも“NO”の結論を出した報告。
- \* 京都からは、学年制とほぼ同じシステムとなっている、朱雀高校と桃山高校の報告。
- \* 滋賀のフレックス制（瀬田工業）の報告。
- \* 大阪の再配置校（29 校から 15 校に削減）での問題点（単位制や 2 学期制、0 校時、土曜授業、3 部制）。
- \* 愛知の刈谷東高校昼間定時制（1 部は 9：00 開始、2 部は 10：50 開始）の報告。

### (3) 夜食・教科書費の補助問題について

全国的に「夜食・教科書費補助」の条件がきびしくなっていることが明らかになりました。

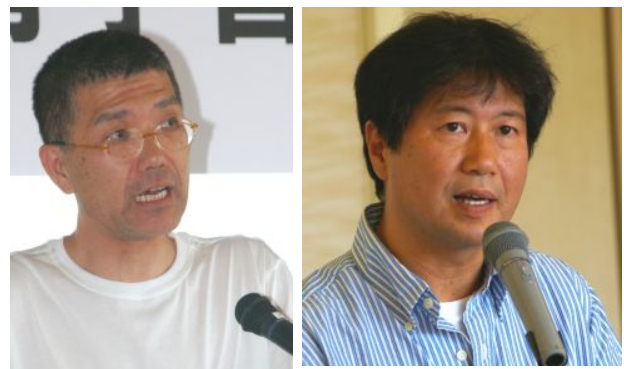
- \* 埼玉：補助の条件は年間の勤務実績が 90 日以上だったが、補助事業の打ち切りが提案されている。
- \* 愛知：年間の勤務実績 90 日以上から 180 日以上に引き上げ。
- \* 滋賀：「1 月当たりの勤務実績が 16 日以上かつ 64 時間以上」から「4 月から 9 月の 6 ヶ月のうち 4 ヶ月以上・10 月から 3 月までの 6 ヶ月のうち 4 ヶ月以上」に変更。
- \* 香川：給食廃止。

交流を通して、①補助対象となる生徒が激減していること、②国から交付されている「定通教育振興」費が他のものに流用されていること、などが明らかになりました。

「父母の会」や「生徒たち」の運動や声も紹介され、定通教育に占める補助事業の重要性が再認識されました。

## 2008 年度臨時総会

2008 年春の異動で、飯塚忠（茨城・副部長）さんと菊池信二（北海道・常任）さんが全日時に転勤となりました。このため、「集会」2 日目に臨時総会を開催し、補充選挙で藤田章（茨城・副部長）さんと新保敦（北海道・常任）を選出しました。



⑤菊池信二さんと⑥飯塚忠さん、お二人とも「集会」の成功のため最後まで奮闘していただきました。